

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 5 月 25 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104555
法人名	社会福祉法人 城山会
事業所名	グループホーム城山
所在地	鹿児島県鹿児島市長田町32番1号 (電話) 099-219-7211
自己評価作成日	平成28年 3月 17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年4月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム城山の魅力は、第一に天然温泉が出ること、また城山の高台にあり、桜島やサマーナイト花火大会が一望できる最高の絶景スポットです。入居者様と散歩に出かける際は必ずといっていいほど立ち寄りのお気に入りの散歩コースになっています。毎日の食事は、手作りの味を大切にし、お節料理やお祝い膳、外出時のお弁当や手作りおやつは、入居者様にとっても喜ばれています。また、望みを叶える日を設け、墓参りやデパートなど、馴染みの場所や行ってみたい場所に個別外出支援を行っています。災害時の対策にも力を入れており、各居室にヘルメットを完備し、地震想定での避難訓練や火災時の避難訓練も法人合同で取り組んでいます。グループホーム城山は、医療法人を母体とし、関連施設サービス、居宅系サービスもあり、地域に密着したサービスを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは桜島を望める見晴らしの良い高台の住宅地に位置し、商店街や小学校にも近く、日当たりが良く散策や外気浴に適した環境にある。法人の介護保険老人施設や特別養護老人ホーム・通所介護施設等と併設され、運営も夏祭りを始めとする各種の行事や緊急時の対応など、相互に連携・協力した体制が整っている。

○年3回は消防署や地域の民生委員の協力を得て法人全体で避難・消火・通報訓練を行っている。また、毎月の自主訓練では避難や通報の方法・機器点検等の学習、また、訓練の評価も行うなど職員の防災への意識は非常に高い。

○職員育成に熱心で、マニュアル類は具体的な内容で整備され、法人及びホーム独自の研修計画を充実させて実施し、実施後のアンケートでは理解度の確認も行って知識や技能の向上を図っている。必要な資格取得に際しては費用の補助もなされている。また、職員間の連携も良好であり、利用者の見守りや日々の関わりを通じてよい良い支援となるように工夫を重ねている。

○管理者や職員は利用者の食事への楽しみをより充実させるため、家族とも話し合いながら利用者の希望の把握に努め、寿司の出前・弁当持参の外出・ソーメン流し・バイキングや季節の行事食、郷土料理や手作りおやつを提供など多くの工夫に取り組んでいる。外出についても同様で、多くの支援のほか、年に1回は利用者個々に「望みを叶える日」を設けて本人が希望する場所に出かけて、利用者の楽しみにつなげている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念に加え、職員で話し合っ作った副理念に基づき、各職員が目標を立て日々のケアに取り組んでいる。	法人全体の理念及び基本方針に加え職員により作成されたホームの副理念に沿って、各職員が日々のケア目標も設定して、地域や家族とのつながりを大切にしながら利用者の支援に取り組んでいる。理念は掲示及び唱和して共有を図り、毎月の職員会議やケア会議では意義や役割を振り返り理解を深めるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの小学校の行事に参加したり、地域の方がボランティアに来て下さったりする。法人主催の夏祭りに地域の方を招待している。	法人の夏祭りやバザーには多くの地域の方々の参加を得ており、地域の朝市を訪れたり、小学校の運動会や資源ゴミの回収等の行事への参加とともに小学生のホームへの来訪もある。また、中学生の職場体験学習や高校生の実習受入れのほか、民生委員や母の日には地域のボランティアにも来訪頂き、これらの交流を利用者は楽しみにしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	実習生の受け入れや、オレンジリング習得を広報している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者・ご家族・民生委員・長寿あんしん相談センターの方に参加して頂き、意見交換を行っている。会議での意見を新しい計画の立案に活かしている。	会議は、利用者や家族・長寿あんしんセンターの職員・地域の民生委員等の参加を得て定期的に開催されている。ホームの現況や行事・問題点に関する意見交換のほか、防災や避難訓練、感染症等についての話し合い、民生委員による他の施設の特色などの紹介、ホームで実施の利用者満足度調査の報告など行われ、内容は職員にも周知されてホームの運営や利用者へのサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護相談員の受け入れや長寿あんしんセンター・市役所の担当者との連携をとり、助言や指導をいただいている。	市の担当者とは訪問や電話での各種手続き等の際などに、運営や利用者の状況について確認や相談を行い、助言や提案を頂くなど適切に連携を図っている。また、介護相談員の受け入れ及び長寿あんしんセンターや市の職員の来訪などもあり、情報や意見の交換も行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人の身体拘束廃止委員会やグループホーム独自でも研修を行い、職員の理解を深め、身体拘束のない安全なケアに努めている。	高齢者の権利擁護や虐待防止、身体拘束に関する勉強会は、法人の身体拘束委員会やホーム内で実施して職員の十分な理解への取り組みとケアへの反映がなされている。家族とも意見交換を行い、適切な言葉遣いや対応に十分配慮し、安全を確保しながら利用者がその人らしく笑顔で暮らせるように工夫して支援に取り組んでいる。また、日中はホームの居室や玄関等の施錠も行われていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成し、勉強会を行い職員の虐待に関する意識を高めている。声のかけ方など職員間で話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人やグループホームにて権利擁護の勉強会を行い、制度の理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書や重要事項説明書の説明を行い、同意を得ている。不安や疑問点を確認し、理解・納得して頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年1回介護相談員が来られ、入居者の意見を聞き助言を頂いている。玄関に意見箱の設置を行っている。第三者委員会にも報告できる体制をとっている。サービス品質向上委員会にて、顧客満足度調査を実施している。</p>	<p>利用者の思いや意見は日常会話や所作の見守りなどで、家族とは来訪時の会話や電話等で把握に努めている。また、サービス品質向上委員会では定期的にアンケートを実施して利用者満足度調査を行っている。日々の申し送りや毎月の職員会議・ケア会議等を通じて全職員が共有を図り、サービスに具体的に活かせるように努め、家族には来訪時や電話・毎月のお便り等で必要な連絡を行っている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃より職員とのコミュニケーションを図り、話しやすい雰囲気作りに努めている。毎月各階・合同会議を行い意見や提案を出す機会を設けている。</p>	<p>管理者自身が日常的に話しやすい雰囲気作りに努め、日頃から職員とのコミュニケーションを密にしている。日々の申し送りや毎月のケア会議で職員の意見や提案を聞き取るほか、必要に応じて個別面談や食事会も企画している。職員の意見や提案は代表者とも検討し、業務や提供しているサービス内容の見直しや改善につなげている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則などの見直し、資格取得のための通信講座の助成を行っている。処遇改善手当も支給している。残業も少なく、働きやすい環境である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や事業所内の研修に積極的に参加し、スキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内での交流はあるが、他施設との交流の機会を作りたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者・介護支援専門員が本人の自宅等を訪問し面談を行い、本人の要望・悩み等を聞く環境を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者・介護支援専門員が本人の自宅等を訪問し面談を行い、家族の要望・悩み等を聞く環境を作っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者・介護支援専門員が面談し、本人・家族と話し合いを行った後、職員の意見を聞き、併設施設の管理職や相談員に相談を行い検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者と1日を過ごす中で、喜びや達成感を共に感じたり、昔ながらの行事や料理等を職員に教えてくださっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の面会時、意見交換を行い精神的なつながりを深めようと努力している。また、行事等に参加していただき、お互いの絆を大切にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所等を本人・家族に聞き、家族・職員で連携しながら支援に努めている。知人や友人も家族の了承を得て、面会や手紙や電話の支援を行っている。一時帰宅や近隣のドライブなども実施している。	利用開始時に把握できた生活歴などの活用や、本人や家族との日頃の会話から馴染みの人や場所をお聞きして支援している。家族や友人・知人などの来訪時にはゆっくり談話できるように、また、電話や手紙の取り次ぎ、買い物や墓参り・一時的な帰宅・近隣のドライブ、利用者の趣味等を可能な限り支援できるよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者が一人になりたい時は、居室に戻られゆっくと過ごされる。また、気の合う入居者同士で部屋を歩き来したり、リビングにて過ごされる。入居者同士でも声を掛け合い協力されている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族より相談があれば、必要に応じて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを基に、日常の会話や表情などから思いや意向の把握に努めている。申し送りや会議にて情報共有している。	利用開始時の聞き取り情報や日常の対話や表情、また、定期的なアセスメントからも思いや意向を把握するように努めている。申し送りやケア会議、「1、2階日記」等で共有を図り、家族とも連携しながら対応を話し合い、本人のリズムに合わせた支援に結び付くように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、担当ケアマネジャーなどから話を聞き、記録に残し、情報の共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のケアの中で、本人の過ごし方を知り、本人のリズムに合わせて出来ることを確認し、共有化している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族・ケアマネ・職員で話し合い意見交換を行うことで、本人が求めるケアプラン作成に心がけている。	介護計画は本人・家族とケアマネ及び職員で話し合い、利用者本位のものを作成している。ケアの状況は支援経過記録や介護経過記録に詳しく記載して共有を図り、統一したケアが行われるよう努めている。定期的な評価や見直しとともに、利用者や家族の要望や変化に応じて、主治医や法人の看護師などの関係者とも確認しながら計画の修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを作成し、食事・水分量・排泄・バイタルや日々の様子などを記録し、変化があった場合は、ケア会議などの話し合いと共に個々のケアプランの見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院の支援・緊急時の入院・合同イベントの参加・外出・外泊、家族の相談などの支援も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	学校や商店などなじみの場所に外出できるように支援している。地域の消防署との連携を図ったり、学校の体験学習の受け入れを行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医を受診している。往診が多く、主治医とこまめに情報共有をしている。通院も家族や職員にて対応している。法人の看護師とも連携をとっている。	利用者個々の利用前の受診状況を十分に把握し、本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。主治医による定期的な往診が多いが、通院は家族もしくは職員で対応している。また、法人の看護師とも連携して利用者の健康管理を行い、家族や医師との情報交換も連絡表や電話で適切に実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人看護師に相談しながら健康管理の支援を行っている。変化がみられた場合はすぐに報告指示を受ける。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には、本人の情報を医療機関に提供し、職員もお見舞いに行き情報を得たり、家族や病院関係者との情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時「看取りに関する指針」で本人・家族の同意を得ている。意向を基に、主治医や看護師、職員で話し合い、可能な限りの支援を行っている。	重度化や終末期のケアについては、「看取りに関する指針」や「入居時リスク説明書」、「緊急時の対応」等の文書で利用開始時に利用者と家族に十分説明して同意を得ている。様々な変化の都度、家族はもとより医師や職員、法人の看護師等の関係者で十分に話し合い、ホームでの可能な限りの支援を行っている。また、カンファレンスやケア会議、外部の研修等で職員のレベルアップも図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	蘇生法・AED等の勉強会を行っている。また、法人統一の急変時マニュアルを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防署の協力を得て法人全体で避難訓練や消火・通報訓練を行っている。自主訓練も実施し、飲料水や食料の備蓄も確保している。</p>	<p>年3回は消防署や地域の民生委員の協力を得て、法人全体で避難・消火・通報訓練を行っている。また、毎月自主訓練も実施して避難方法や通報の学習、訓練後の話し合いも重ねており職員の防災への意識は高い。スプリンクラーや自動通報装置等の設備の充実も回り点検も適切に実施している。非常時の食料や飲料水、ヘルメット等の備品も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会や会議等で適切な声かけができていないか確認している。個人的な話などは他者に聞こえない場所で行っている。	関連マニュアルの整備や研修の充実とともに、利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、丁寧な声かけや対応を申し送りやケア会議等で繰り返し確認して日々のケアで実践に努めている。居室や個人記録の保護にも十分な配慮がなされ、実習生や職場体験学習、ボランティアの受入れに際しても必要な対応を適切に説明している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は入居者と過ごす時間・会話の中で入居者の希望・関心・好みなど感じ取りながら希望に沿えるよう支援している。洋服やレクリエーションなど、本人が選ぶ機会を作るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望や体調に合わせ、のんびりした時間を過ごしながらそれぞれ好きな趣味活動を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々に合った化粧や服装をされている。馴染みの店で、パーマや毛染めをされる。ボランティアの美容師が月に1回来られる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や食卓の準備・後片付け等出来ることを一緒に行っている。また、郷土料理や手作りおやつを取り入れたり、寿司の出前を頼むなど食事を楽しんでもらえるよう案を出している。	利用者も食卓の準備・後片付け等、個々の力に応じた役割が担えるよう支援している。利用者の楽しみにつながるように誕生日には本人希望の料理を提供するほか、寿司の出前・弁当持参の外出・ソーメン流し・バイキングや季節の行事食、手作りおやつや郷土料理の提供など、職員が話し合っって多くの工夫に取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	残食や水分チェック表に記録し1日の摂取量を把握している。トロミや刻みなど、本人の食べやすい形態にして提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。必要に応じて歯科往診を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、各自に合わせたペースでのトイレ案内を行っている。パット使用の方も、吸収量など本人に適しているか、毎月のケア会議などで検討している。	利用者の様子観察や排泄チェック表・水分チェック表・バイタルノートを活用し、個人の習慣や自尊心にも配慮しながら、より良いタイミングでの声かけに努め適切に支援している。法人全体の排泄委員会やケア会議等で排泄用品の選択も含めて利用者個々に合った取り組みを話し合い、羞恥心や不安・安全等にも配慮して支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給ゼリーや牛乳などを提供し、家事動作やリハビリ体操などで身体を動かす機会を設け、自然排便を心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日や時間はある程度決めてしまっているが、個々の希望になるべく沿った支援を行っている。	利用者の体調や安全に配慮しながら個々の希望に沿った支援に努め、基本的には週に3回温泉をゆっくりと楽しんで頂いている。入浴を拒否されるような場合には、言葉かけの工夫や職員の交替、時間帯の変更などで利用者の気分を落ち着かせ、ゆったりと誘導するように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、家事動作や体操を行い、出来るだけ体を動かして頂いている。午睡の時間を設けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時、主治医より説明を受けている。薬が届いた時点でも、薬剤師からの説明を受ける。変更があった場合は、申し送りや記録に残し、職員全員に伝わるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事が得意な方は洗濯・掃除・料理などを自発的にしてください。趣味でハーモニカや読書、歌、踊りなどされる方もいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	地域の小学校の行事や地元のお祭りの参加、初詣、花見、外食など行っている。その他、望みを叶える日として、馴染みの場所や行きたい場所をきいて個別の外出支援を行っている。	利用者の希望は日常会話を通じて把握に努め、地域の朝市や小学校の運動会も含め、初詣・季節の花見・外食など、可能な限り工夫して支援に取り組んでいる。年に1回は利用者個々に「望みを叶える日」を設けて本人が希望する場所に出かけている。日常的には、散歩や日光浴・買い物・近隣のドライブ・墓参り・一時的な帰宅等を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方には、個人管理して頂いている。入居時、本人・家族と相談し、金庫にて保管し金銭出納帳をつけている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話利用時は、子機を居室に持っていき、プライバシーの配慮を行っている。手紙等も自由に書けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの飾りつけは、季節感を感じられるものを入居者と一緒に手作りし行っている。また、行事の写真を掲示し、入居者が眺めながら楽しそうに会話している姿がみられる。温度・湿度計設置し、快適に過ごせるよう調節している。	ホームは桜島を望める見晴らしの良い高台に位置し、散策や外気浴に適した環境にある。利用者が一日の多くの時間を過ごすリビングは、温度や湿度・清潔感などにも十分配慮され、季節の花や手作りの多くの作品・行事等の写真などが飾られて居心地良く過ごせるように工夫されている。玄関近くの花壇には季節の花が栽培されている。また、近所にはホームが譲り受けた民家もあり、庭の山菜や果樹の収穫も楽しめる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者が一人になりたい時は、居室に戻られゆっくりと過ごされる。また、気の合う入居者同士、リビングのソファなどで寛ぐ姿が見られる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持って来られる方もいる。装飾品等は馴染みの物など希望に応じて配置している。家族の協力が得られにくい時は、本人と職員で居室づくりに取り組んでいる。	管理者や職員は利用者個々の居室が清潔で環境の良いものであるよう気配りしている。エアコンやベッド・タンス・洗面台はホームが準備したものであるが、利用者が使い慣れた日用品や家具などを自由に持ち込んで頂き、好みの配置で本人が自分のペースでゆったりと過ごせるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	滑り止めマット・テープなどを使用し、入居者の不安を取り除いている。トイレや居室の場所を迷う方には案内板を設置している。毎日リハビリ体操や家事動作を行い、身体機能の維持に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人全体の理念に加え、地域と家族との絆を念頭においた副理念をつくり、各職員が日々のケアに取り組んでいる。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>立地上、地域との交流が難しい面もあるが、地域の小学校の行事参加や法人主催の夏祭りに地域の方を招待するなどして交流をはかっている。</p>		
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>運営推進会議時、地域や家族の方々から相談を受けている。実習生の受け入れを行っている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1回運営推進会議を開催し、各関係者の情報交換を行い、サービスの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護相談員の受け入れや長寿あんしんセンター・市役所の担当者との連携をとり、助言や指導をいただいている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を作り、拘束のないケアに取り組み、話し合いを行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行い、虐待が起これないよう職員間で声掛けし合える環境作りに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護の勉強会を行い、職員の理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の契約の際、説明を行い同意を得ている。また、不安や疑問点があれば十分な説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。面会時や運営推進会議で意見を頂いている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月ケア会議を行い、意見や提案を出す機会を設け、日頃から職員とのコミュニケーションを図っている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則などの見直しを行い、スキルアップに応じて人事の見直しが行われている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム内で毎月勉強会を実施。法人内外の研修を受ける機会もあり、職員のスキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会への参加や研修会等に参加しネットワーク作りに努めている。もっと機会を増やしていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者・介護支援専門員が本人の自宅等を訪問し面談を行い、本人の要望・悩み等を聞く環境を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者・介護支援専門員が本人の自宅等を訪問し面談を行い、家族の要望・悩み等を聞く環境を作っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者・介護支援専門員が面談し、本人・家族と話し合いを行った後、職員の意見を聞き、併設施設の管理職や相談員に相談を行い検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔ながらの生活の知恵を教えてもらいながら、ともに日々を過ごしている。人生の先輩として尊敬の念を持ちながら接するよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に意見交換を行いつながりを深めようと努力している。遠方在住のご家族には電話にて現状の報告・連絡・相談を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所を本人やご家族に聞き、ご家族と連携しながら支援している。知人や友人もご家族の了解のもと、いつでも面会できるようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者同士で部屋を歩き来したり、リビングにて過ごしておられる。入居者同士でも声を掛け合い、家事やレクリエーションなど協力されている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族より相談があれば、必要に応じて対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にケアプランの見直しを行い、本人や家族の希望に沿うように努めている。ケア会議を行い、職員全員でその方に最も適したケアを検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から話を聞いたり、家族が面会に来られた時に情報をもらうようにして記録に残し、情報の共有化を図っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人との対話や観察をもとに記録に残したり申し送りをしたりして職員の情報の共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議やサービス担当者会議で意見を出し合い、統一したケアができるようにケアプランの作成を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録やモニタリング、ケア会議での話し合いをもとに、ケアプランの見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院の支援・緊急時の入院・合同イベントの参加・外出・外泊、家族の相談などの支援も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	学校や商店などなじみの場所に外出できるように支援している。地域の消防署との連携を図ったり、学校の体験学習の受け入れを行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医・嘱託医の受診の際、ご家族と協力し、ご家族の同行が困難な場合は職員が付き添い支援を行っている。また、内科や歯科の往診に来ていただき連携を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	法人看護師に相談しながら健康管理の支援を行っている。変化がみられた場合はすぐに報告指示を受ける。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院時には、本人の情報を医療機関に提供し、職員もお見舞いに行き情報を得たり、家族や病院関係者との情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時「看取りに関する指針」で本人・家族の同意を得ている。意向を基に、主治医や看護師、職員で話し合い、可能な限りの支援を行っている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	蘇生法・AED等の勉強会を行っている。また、法人統一の急変時マニュアルを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に法人全体・GHにて日中・夜間を想定した避難訓練を実施。消防署の方にアドバイスをいただき、新人職員は必ず消火訓練を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレなどの声掛けは、特に羞恥心に配慮した声掛けを心がけている。また個人記録の保管場所も統一している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけわかりやすい言葉や表現を用いて入居者とコミュニケーションをとり、希望を感じ取れるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各自のペースに合わせ、無理のないように対応している。入居者の希望を引き出せるような声掛けや雰囲気作りを心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ボランティアの美容師に毎月来ていただいている。好きな服を選んでいただいたり、希望される方には口紅をつけたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方に適した食事形態にて提供しており、好き嫌いにも対応している。調理、配膳、下膳など、できる範囲でしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取、水分摂取のチェックを毎日行い、食事形態や嚥下の状態を確認しながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。必要に応じて歯科往診を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて一人一人の排泄パターンを把握し、トイレ案内を実施。本人にとってストレスの少ない排泄用具の使用をケア会議等で検討している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む食材を使用したり、水分補給や運動をしていただくよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	人員体制の都合により、日中のみになってしまっているが、個浴にて対応し、なるべくゆったりとした気持ちで入っていただけるようにしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	気候や本人の希望に応じて寝具や室温、明るさを調節し、ゆっくり休める環境作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時、主治医より説明を受けている。薬が届いた時点でも、薬剤師からの説明を受ける。変更があった場合は、申し送りや記録に残し、職員全員に伝わるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事が得意な方は洗濯・掃除・料理などを自発的にして下さる。趣味で生け花、カラオケなどされる方もいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候の良い日には散歩に行ったり、希望を叶える日で個別外出を行っている。天候や職員体制で難しいところもあるが、できるだけ工夫し機会を増やしていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理できる方には個人管理して頂いている。入居時に、本人・家族と相談し金庫にて保管し金銭出納帳をつけている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀はがきや暑中見舞いのはがき、手紙など自由に出すことができる。電話などもかけられるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>掃除やにおいに気を遣い、快適に過ごせるよう配慮している。季節の壁画やカレンダーなど、入居者と職員で協力して作り、楽しみになるよう工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでは入居者同士の会話を楽しむ姿が毎日みられる。一人になりたい時は、居室にて過ごされることが多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の大切な思い出の作品や愛用品など、安全性を考慮したうえで自由に持ち込んでいただいている。本人に聞きながら、ほっとする雰囲気作りを心がけている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーで、廊下やトイレ・浴室に手すりがついている。居室には花の名前をつけており、覚えやすいようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない